

2015.1月

| |
|--|
| <p>品質月報 <i>Monthly Quality Report</i></p> |
|--|

1月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4~5 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…
「2014年日本の10大ニュース」

PAGE 6 ……今月の品質状況

市場不良率推移

PAGE 7 ……品質状況詳細

市場不良発生状況(工程別、客先別)

PAGE 8 ……品質状況詳細

クレーム発生状況(クレーム発生推移、客先別)

PAGE 9 ……活動報告

『CEBU SHINKOWA INC品質活動報告』



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動をおこない、社会へ貢献してまいります。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめてまいります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守をとおして品質の向上につとめてまいります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネージメントレビューをおこない、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかってまいります。

平成26年10月1日
サンシングループ
代表

石井 宏宗



今月のトピックス

「2014年日本の10大ニュース」

【1位】御嶽山噴火で死者57人、行方不明者6人

噴火し、激しく噴煙を上げる御嶽山(9月27日)＝川口敏彦撮影 9月27日午前11時52分長野、岐阜両県境の御嶽山(3067メートル)が噴火した。山頂付近にいた登山者が噴火に巻き込まれ、57人が死亡、6人が行方不明になるなど、戦後最悪の噴火災害となった。

噴火当時、山頂付近には登山者ら約250人がいたとみられる。救助、捜索には警察、消防、自衛隊から延べ約1万5000人が当たったが、積雪や火山灰の凍結などで続行が困難となり10月16日に打ち切った。行方不明者の捜索再開は来春以降の見通しだ。

御嶽山の噴火は7年ぶり。気象庁は24時間体制で監視しており、噴火の前には一時火山性地震が急増していた。しかし、噴火につながるとは判断できず、噴火警戒レベルは平常の「1」に据え置かれたままだった。

【2位】消費税8%スタート

17年ぶりの消費税増税。消費税の税率が1日、5%から8%に引き上げられた。

1997年に3%から5%へ引き上げられて以来、17年ぶりの消費増税となった。

増税前は、3月の家電販売額が前年実績より9割増えるなど駆け込み需要が発生。

1～3月期の実質国内総生産(GDP)は前期比1.4%増の高い伸びとなった。

4月以降の反動減について、政府は夏場から景気が持ち直すと想定していた。

だが、GDPは4～6月、7～9月と2四半期連続でマイナス成長。増税が重しとなり

個人消費を押し下げている状況が鮮明となった。

安倍首相は11月18日、「景気が腰折れすれば国民生活に大きな負担をかける」とし消費税率10%への引き上げ時期を、予定していた2015年10月から1年半先送りすると発表。さらに「国民に信を問うべきだ」として衆院解散を表明した。

【3位】ノーベル物理学賞に青色LEDを開発した赤崎勇、天野浩、中村修二の3氏

スウェーデン王立科学アカデミーは10月7日、2014年のノーベル物理学賞を、青色発光ダイオード(LED)を開発した名城大学の赤崎勇教授と名古屋大学の天野浩教授
米カリフォルニア大学サンタバーバラ校の中村修二教授の3人に贈ると発表した。

授賞式はストックホルムで12月10日に行われた。



光の三原色のうち、赤と緑のLEDは1960年代に開発された。残る青は「20世紀中の実現は困難」と言われていたが、89年に開発に成功。長寿命、省電力のLEDは、その後商品化され照明を中心に利用が広がっている。ろうそく、白熱灯、蛍光灯に続く「第4世代の光」としてLEDが普及する礎を築いたことが評価された。

【4位】全米テニスで錦織圭が準優勝

【5位】「アベノミクス」の評価を問う衆院選(自民党が290議席を獲得して圧勝)

【6位】広島市北部の土砂災害で74人が死亡

【7位】STAP細胞論文に改ざんなど不正

【8位】ソチ五輪で日本は金1(羽生結弦選手)、銀4、銅3

【9位】世界文化遺産に「富岡製糸場」

【10位】高倉健さん死去(83歳)

<管理>

我々企業は、ヒット商品に出会えることなど滅多にありません。

その為、企業を存続していくため、社長からの品質方針である

「サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献して参ります。」

この方針をもとに活動目的、目標、スケジュールを明確にして取組む必要があります。

また、これらを取組むにあたり大切になってくるのが、各々セクションにおける「管理」です。

製造現場では、大きく3つの管理があります。

1、コスト管理

2、品質管理

3、在庫管理

この3つがいずれも管理できていないと企業として成り立たなくなります。また、この3つはどれもが、それぞれ単独で扱うのではなく、それぞれで因果関係が密接にあります。

例えば、在庫管理の基本は、先入れ先出しです。そして、明確な基準リードタイムでの運用です。これが出来ていないと、いざ不良が発生したときに在庫過多により損失コストが大きくなります。皆さんも今の業務を見つめ直してみれば、如何ですか？

(QCP萩原)

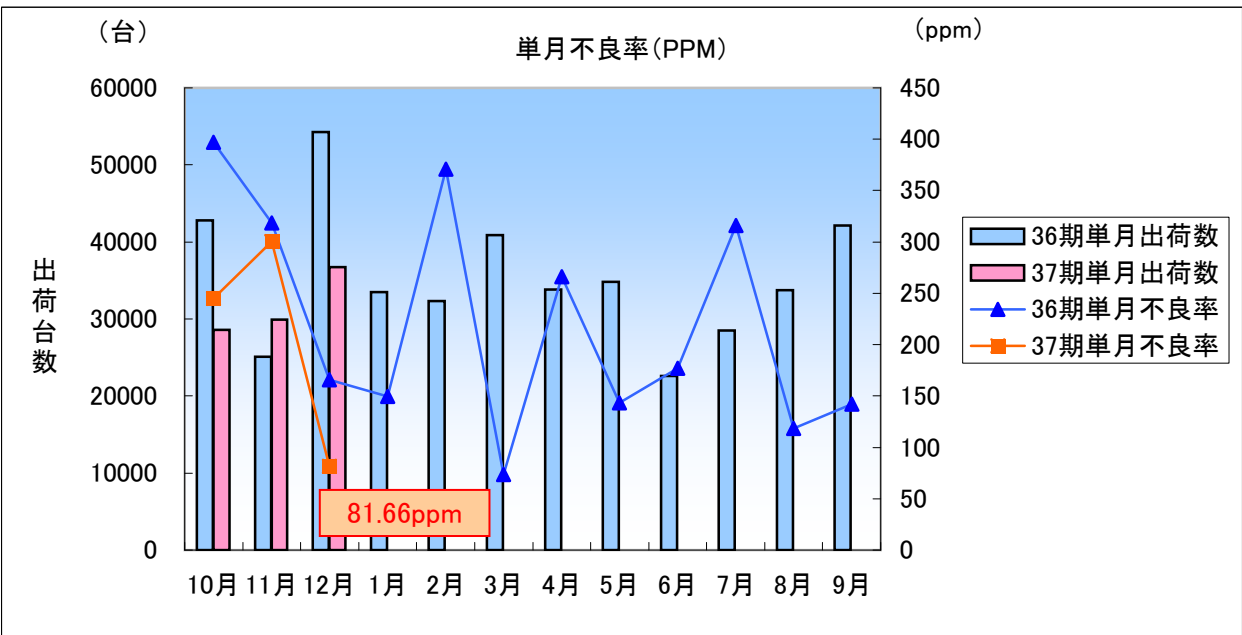
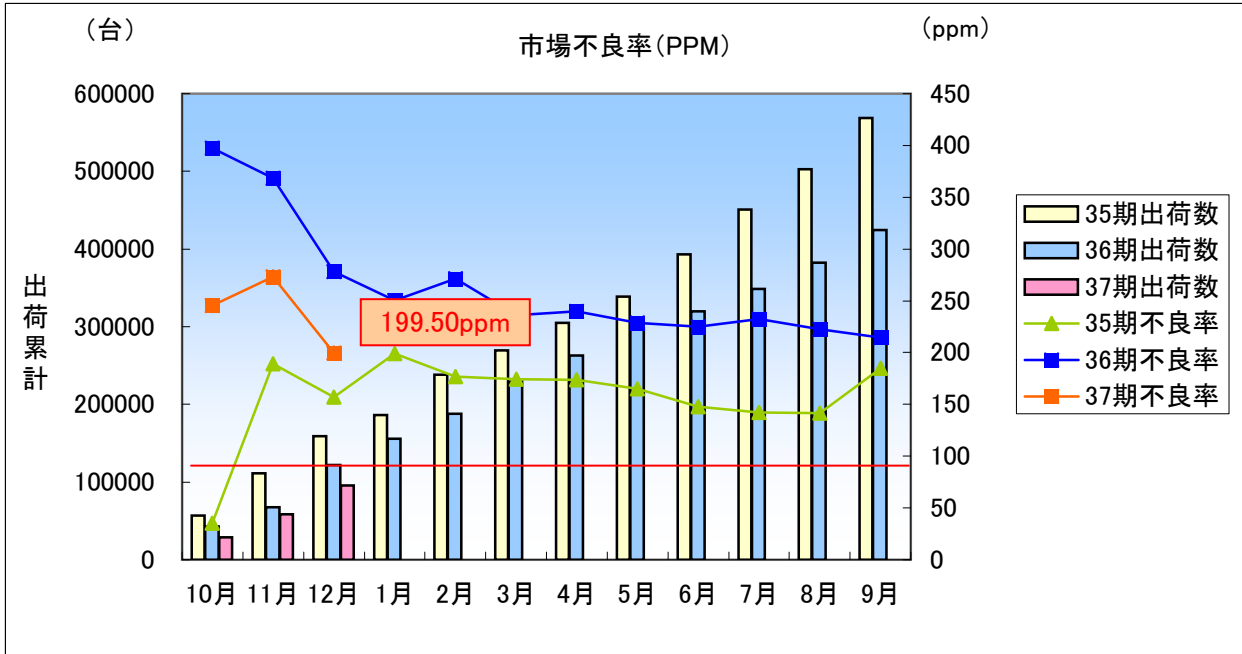
今月の品質状況

37期の旗印

納入不良率 目標.....100ppm

37期の累計不良率は199.50ppmです。

市場不良累計は 19件（その他 MOSFET 70件）
 市場不良、製造不良含め不良率は改善傾向です。
 この調子で目標値の100ppmを目指しましょう。

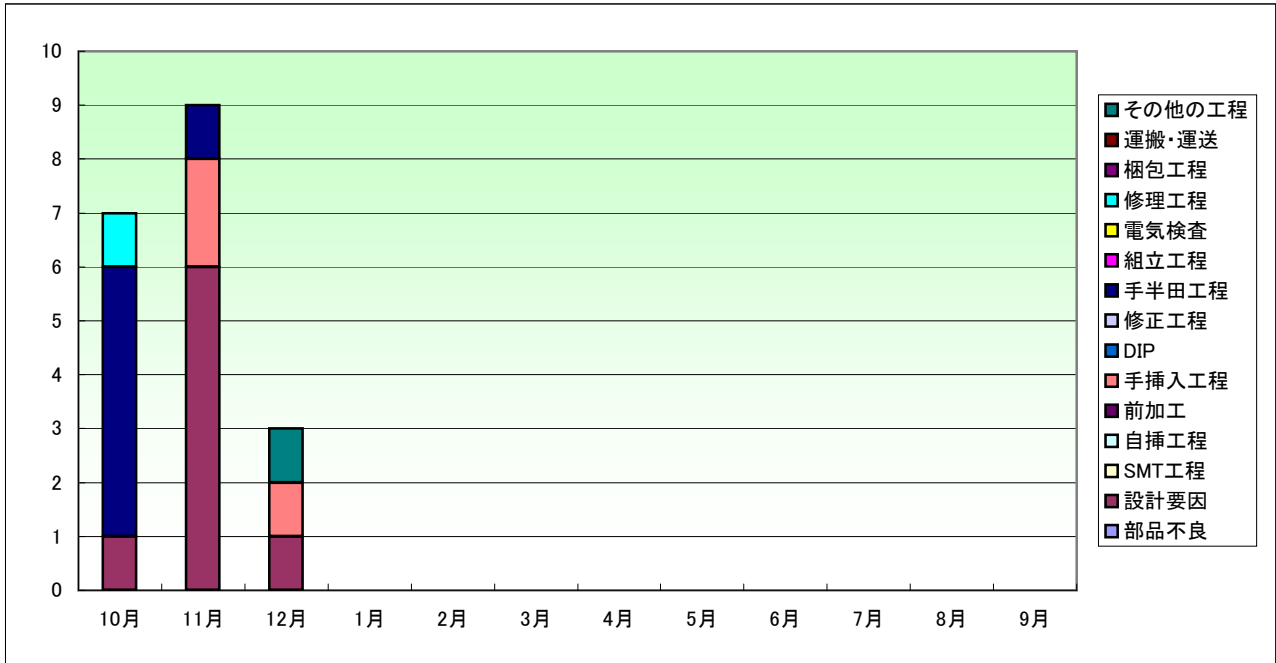


12月の単月不良発生率は3件発生で 81.66ppm です。
 製造不良 1件、設計不良 1件、その他 1件
 引き続き不良削減にご協力下さい。

品質状況詳細

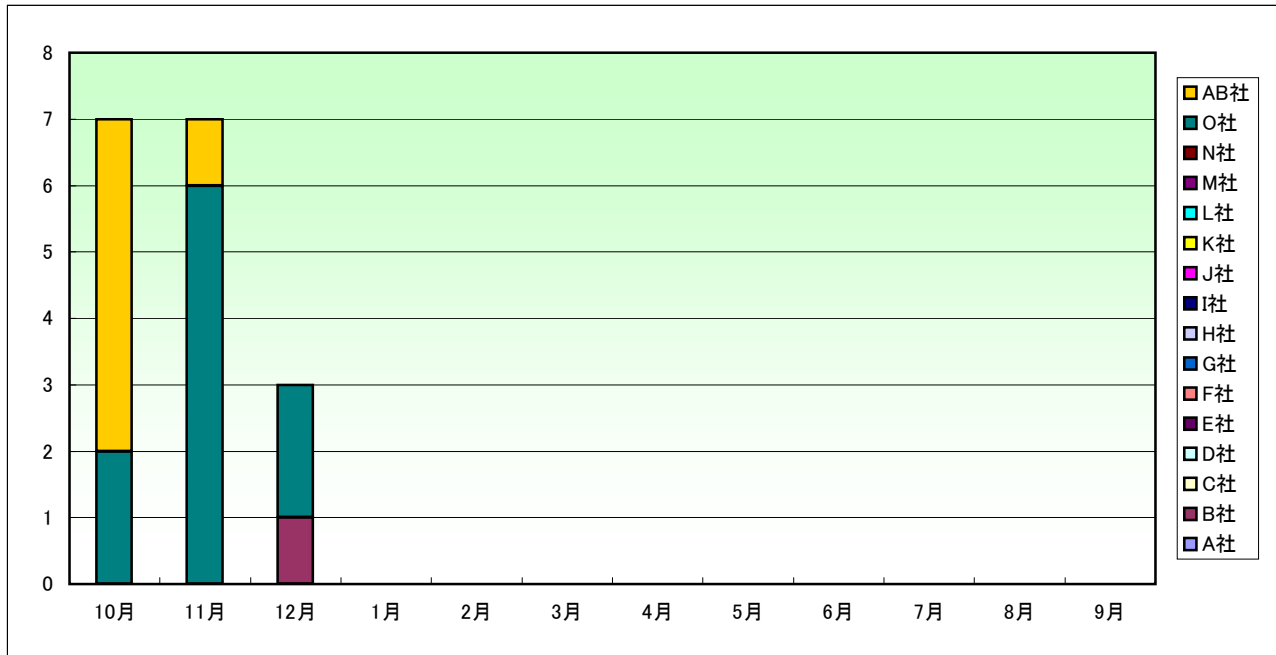
原因別、並びに工程別市場不良発生状況

工程別不具合



12月までの工程別不具合
 設計要因 8件、手挿入工程 3件、手半田工程 6件、修理(リワーク)工程 1件、その他 1件
 「設計要因」現在調査中です。

客先別不具合



客先別累計不良発生率
 AB社 6件/460台 (13043ppm)
 O社 10件/11,576台 (864ppm)
 B社 1件/13,500台 (74ppm)

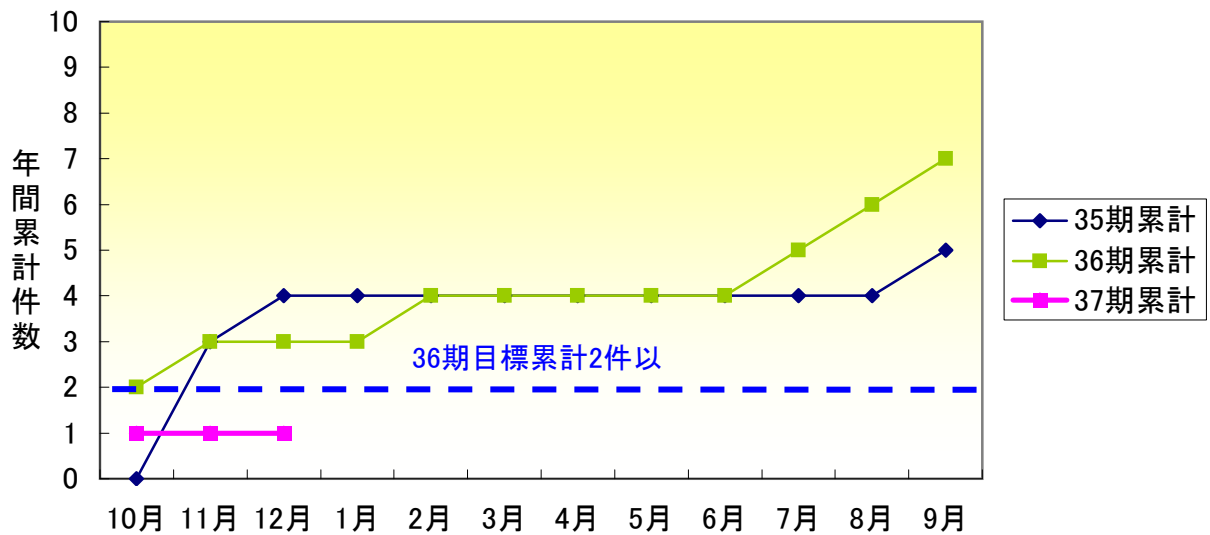
品質状況詳細

クレーム発生状況

クレーム発生推移

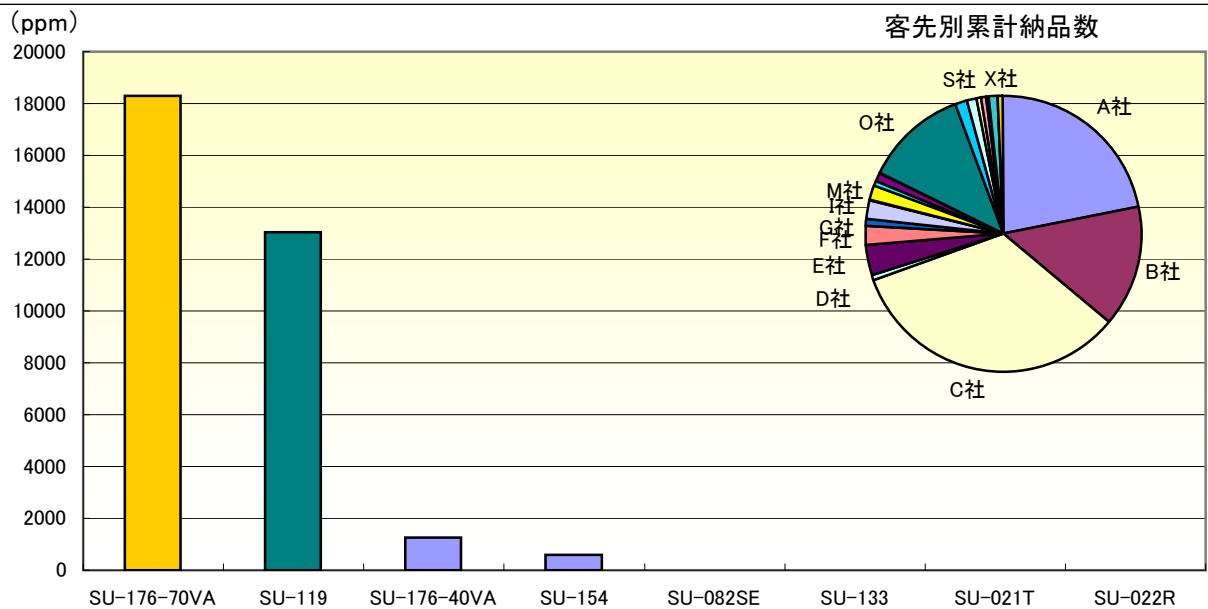
「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に
当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合

対前年度クレーム件数推移(37期)



クレーム不良合計1件。
12月はクレーム不良はありませんでした。

機種別累計不良率



機種別累計不良率(不良率ワースト5)

| 機種 | 客先 | 不良数/納品数 | 単機種不良率 |
|---------------|-------|----------|----------|
| ① SU-176-70VA | (O社) | 9件/492台 | 18293ppm |
| ② SU-119 | (AB社) | 6件/460台 | 13043ppm |
| ③ SU-176-40VA | (O社) | 1件/792台 | 1263ppm |
| ④ SU-154 | (B社) | 1件/1700台 | 588ppm |
| ⑤ SU-082SE | (AE社) | 2件/-台 | - ppm |

活動報告 Quality Center

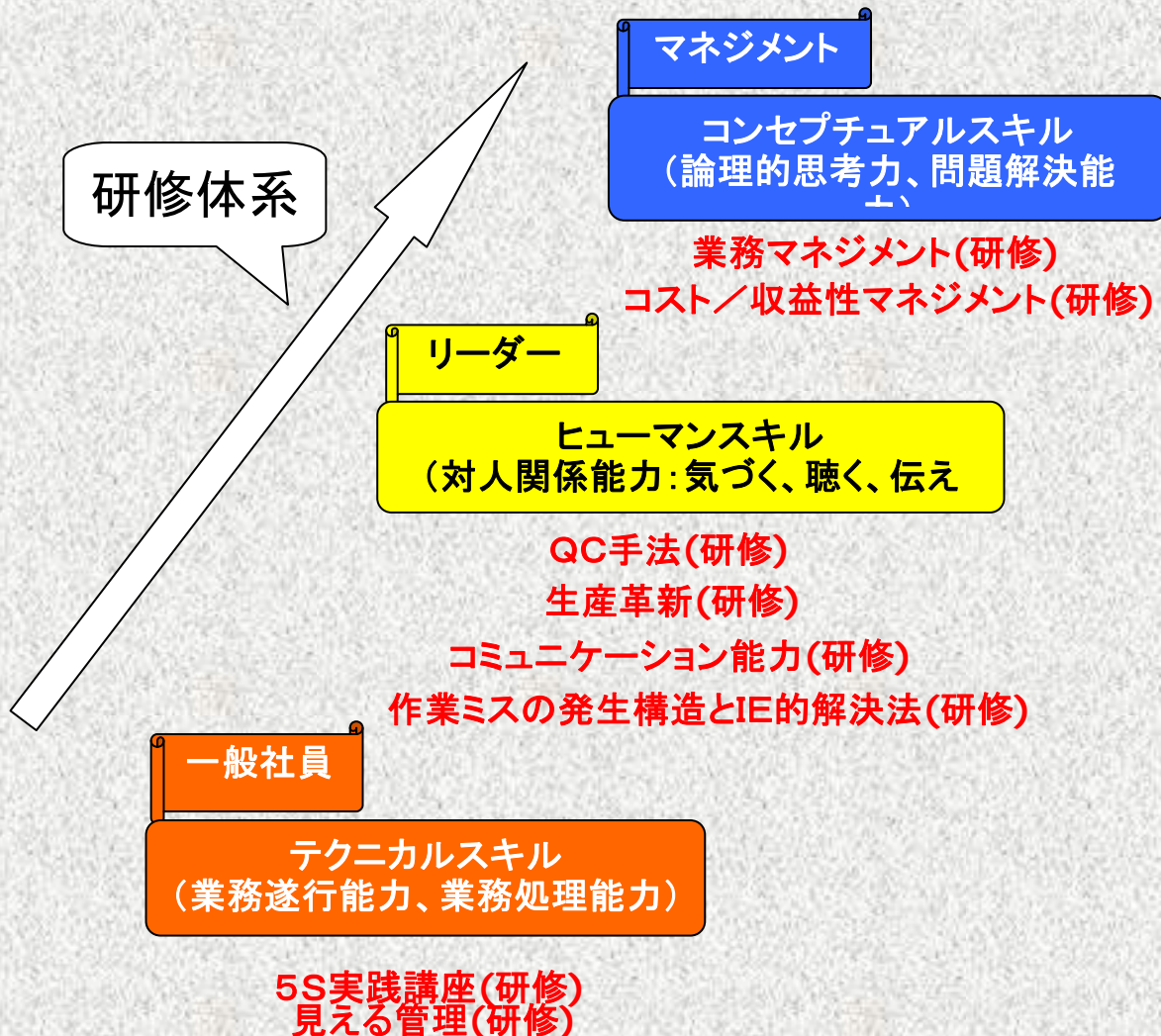
『CEBU SHINKOWA INC品質活動報告』

新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い致します。

さて、CSIでは、2014年11月から歩留り向上を目的に「品質改善活動」に取り組んでいます。
その中の1つである「人財育成」計画について紹介します。

【期待される役割】

- ①一人ひとりが、果たすべき役割と期待される成果をしっかりと認識する。
- ②目標を達成するのに必要な能力向上(開発)させる。
- ③役割を遂行する過程で実際にコンピテンシーを発揮し具体的な成果に結び付ける。



12月については、「5S実践講座」を開設し、CSIメンバーへの教育を実施。
5Sについては、その場かぎりの研修で終わりにするのではなく、5S委員会を
1回/月開催し、継続的なOJTを行っていく。